

企業物価指数「パーソナルコンピュータ」に関する ヘドニック回帰式（再推計結果）

企業物価指数「パーソナルコンピュータ（以下、パソコン）」の品質調整に適用するヘドニック回帰式について¹、最新のデータを用いて再推計しましたので、その結果をお知らせします。

1. パソコンのヘドニック推計に関する基本方針・留意事項

推計頻度	・年2回（2月・8月）。
適用範囲	・国内品、輸出品、輸入品に対し、同一の推計式を適用 ² 。
該当品目	<ul style="list-style-type: none"> ・国内企業物価指数：品目「パーソナルコンピュータ」に適用。 ・輸出・輸入物価指数：品目「電子計算機本体」のうちパソコンに適用。 ・企業向けサービス価格指数：品目「電子計算機レンタル」のパソコンの本体価格にも適用。
適用時期	・2012年2月以降に生じるパソコンの調査対象商品の変更時。

2. 推計で使用したパソコンの特性等

推計は、デスクトップ型パソコン（以下、デスクトップ型）とノートブック型パソコン（以下、ノートブック型）で別々に行った。これは、機能や価格帯が異なる点を考慮したことによる。

価格式の説明変数として、標準搭載メモリ容量や HDD 容量、総画素数等を使用した。また、CPU の種類、光ディスクドライブの種類、インターフェイスの種類などは、ダミー変数として扱った（データの出所や特性は図表 3～6 を参照）。

3. 推計結果

推計結果の概要は次表の通りで、このうち○は有意となった変数、×は有意とならなかった変数、－は考慮しなかった変数であることを示す（詳細は図表 1、2）。なお、関数形については、尤度比検定の結果を参考にデスクトップ型、ノートブック型ともに、両側 Box-Cox 形を選択した³。

¹ ヘドニック法に関する考え方等については、「2005年基準企業物価指数におけるヘドニック法の適用」（07/12月、日本銀行調査統計局 http://www.boj.or.jp/statistics/outline/notice_2007/ron0712b.htm/）を参照。

² 国内品、輸出品、輸入品では、価格調査段階や販売される市場等が異なるため、本来であれば、各々について回帰式を推計することが望ましい。しかしながら、①輸入品と国内品は代替性が強く、価格裁定が働いていると考えられること、②輸出品は、サンプル数が少ないため、輸出先別の推計が難しいことや、商品の特性は国内品や輸入品と共通する部分が多いことから、国内品と輸入品の国内販売価格を基に推計した式を、国内品、輸出品、輸入品に対し、一律に適用している。

³ ヘドニック回帰式の関数形は、Box-Cox 変換項を含んだ一般的な関数形を想定した。

3.1. デスクトップ型（図表 1）

基本性能を表す変数として、「標準搭載メモリ容量」、「HDD 容量」など 12 変数が前回推計に引き続き有意となったほか、画面に関する特性として「3D 液晶ダミー」が新たに有意となった。

—— 一方、「無線 LAN 搭載ダミー」は今回有意とならなかった。

説明変数	今回（2011/1Q～ 2011/4Q）	前回（2010/3Q～ 2011/2Q）
<u>データ処理能力に関する特性</u>		
標準搭載メモリ容量（MB）	○	○
キャッシュ容量（2次+3次）（MB）	○	○
<u>拡張性に関する特性</u>		
HDD 容量（GB）	○	○
<u>ディスプレイに関する特性</u>		
総画素数（ピクセル）	○	○
3D 液晶ダミー	○	×
<u>CPU の種類</u>		
Core i5 搭載ダミー	○	○
Core i7 搭載ダミー	○	○
<u>光ディスクドライブの種類</u>		
ブルーレイ・ディスクドライブダミー	○	○
<u>グラフィックスメモリの有無</u>		
専用グラフィックスメモリダミー	○	○
<u>無線通信の種類</u>		
Bluetooth 対応ダミー	○	○
無線 LAN 搭載ダミー	×	○
<u>インターフェイスの種類</u>		
USB3.0 搭載ダミー	○	○
<u>初期搭載ビジネスアプリケーションの種類</u>		
Microsoft Office Personal 2010 ダミー	○	○
Microsoft Office Home and Business 2010 ダミー	○	○

$$\frac{y^{\lambda_0} - 1}{\lambda_0} = \beta_0 + \sum_{i=1}^n \beta_i \frac{x_i^{\lambda_i} - 1}{\lambda_i} + u$$

λ は Box-Cox パラメータで、 $\lambda = 0$ は対数変換。関数は、①上式の両側 Box-Cox 形、②片側 Box-Cox 形（ $\lambda_i = 1$ ）、③両側対数形（ $\lambda_0 = \lambda_i = 0$ ）、④片側対数形（ $\lambda_0 = 0, \lambda_i = 1$ ）、⑤線形（ $\lambda_0 = \lambda_i = 1$ ）、について Box-Cox 検定を行い、関数形を選択した。

3.2. ノートブック型（図表 2）

基本性能を表す変数として、「標準搭載メモリ容量」、「記憶媒体容量」など 18 変数が前回推計に引き続き有意となったほか、「指紋認証搭載ダミー」が新たに有意となった。

—— 一方、「スーパーマルチドライブ/ハイパーマルチドライブダミー」は今回有意とならなかった。

説明変数	今回（2011/1Q～ 2011/4Q）	前回（2010/3Q～ 2011/2Q）
<u>データ処理能力に関する特性</u>		
キャッシュ容量（2次+3次）（MB）	○	○
標準搭載メモリ容量（MB）	○	○
<u>拡張性に関する特性</u>		
記憶媒体容量（GB）	○	○
SSD 搭載ダミー	○	○
専用グラフィックスメモリ搭載ダミー	○	○
<u>ディスプレイに関する特性</u>		
総画素数（ピクセル）	○	○
3D 液晶ダミー	○	○
タッチパネル搭載ダミー	○	○
<u>携帯性に関する特性</u>		
バッテリー駆動時間（分）	○	○
<u>CPU の種類</u>		
Core i7 搭載ダミー	○	○
<u>光ディスクドライブの種類</u>		
スーパーマルチドライブ/ハイパーマルチドライブダミー	×	○
ブルーレイ・ディスクドライブダミー	○	○
<u>インターフェイスの種類</u>		
Bluetooth 搭載ダミー	○	○
USB3.0 搭載ダミー	○	○
指紋認証搭載ダミー	○	×
<u>無線通信の種類</u>		
WiMAX 対応ダミー	○	○
<u>テレビ機能に関する特性</u>		
地上デジタル放送対応ダミー	○	○
<u>初期搭載 OS の種類</u>		
Windows 7 Professional ダミー	○	○
<u>初期搭載ビジネスアプリケーションの種類</u>		
Microsoft Office Personal 2010 ダミー	○	○
Microsoft Office Home and Business 2010 ダミー	○	○

以 上

推計結果: デスクトップ型パソコン

関数形 被説明変数のBox-Coxパラメータ	今回 (2011/1Q~2011/4Q)	前回 (2010/3Q~2011/2Q)
	両側Box-Cox	両側Box-Cox
	0.449	0.112
定数項	-377.302 ***	10.380 ***
キャッシュ容量(2次+3次)(MB)	13.118 ***	0.145 ***
Box-Coxパラメータ	0.586	1.173
標準搭載メモリ容量(MB)	1.07E-14 ***	2.12E-17 ***
Box-Coxパラメータ	4.047	4.287
HDD容量 (GB)	225.058 ***	3.107 ***
Box-Coxパラメータ	-0.304	-0.217
総画素数(ピクセル)	4.335E-05 ***	0.005 ***
Box-Coxパラメータ	0.955	0.233
CPUの種類ダミー		
Core i5	12.281 ***	0.254 ***
Core i7	18.504 ***	0.327 **
グラフィックスダミー		
専用グラフィックスメモリ	19.339 ***	0.360 **
ディスプレイ仕様ダミー		
3D液晶	32.850 ***	--
光ディスクドライブダミー		
ブルーレイ・ディスクドライブ	23.142 ***	0.309 ***
搭載インターフェイスダミー		
USB3.0	13.899 ***	0.310 ***
無線通信の種類		
Bluetooth	9.009 *	0.254 **
無線LAN	--	0.288 ***
初期搭載ビジネスアプリケーションダミー		
Microsoft Office Personal 2010	24.395 ***	0.773 ***
Microsoft Office Home and Business 2010	32.211 ***	1.024 ***
メーカーダミー		
A社	36.169 ***	0.935 ***
B社	22.743 ***	1.214 ***
C社	22.102 ***	0.631 ***
D社	36.232 ***	1.959 ***
E社	26.529 ***	0.475 **
F社	10.616 *	0.374 ***
G社	--	0.516 ***
販売時期ダミー		
2010/4Q	--	-0.538 ***
2011/1Q	--	-0.774 ***
2011/2Q	-14.691 ***	-1.090 ***
2011/3Q	-25.414 ***	--
2011/4Q	-43.178 ***	--
決定係数	0.973	0.953
自由度修正済み決定係数	0.969	0.947
回帰の標準誤差	15.710	0.421
被説明変数の平均値	395.691	23.700
サンプル数	156	191
両側Box-Coxに対する検定 (H_1 :両側Box-Cox)		
H_0 :片側Box-Cox ($\lambda_1=1$)	21.309 ***	28.163 ***
H_0 :両側対数 ($\lambda_0=\lambda_1=0$)	40.176 ***	28.023 ***
H_0 :片側対数 ($\lambda_0=0, \lambda_1=1$)	59.051 ***	35.002 ***
H_0 :線形 ($\lambda_0=\lambda_1=1$)	55.700 ***	139.876 ***

(注) 1. ***は1%、**は5%、*は10%水準で有意であることを示す。

2. 両側Box-Coxに対する検定は、尤度比検定により行っている。尤度比検定の統計量は、制約の数を自由度とする χ^2 分布に従う。例えば、図表の「両側Box-Coxに対する尤度比検定」では、帰無仮説(H_0)の関数形が棄却された場合、両側Box-Cox形の関数が、片側Box-Cox形、両側対数形等、より単純な関数形より有意に優れていることを意味する。

推計結果: ノートブック型パソコン

関数形 被説明変数のBox-Coxパラメータ	今回 (2011/1Q~2011/4Q)	前回 (2010/3Q~2011/2Q)
	両側Box-Cox	
定数項	0.416	0.324
キャッシュ容量(2次+3次)(MB)	-1,285.127 ***	-837.370 ***
Box-Coxパラメータ	33.413 ***	2.621 ***
標準搭載メモリ容量(MB)	-1.024	0.537
Box-Coxパラメータ	557.791 ***	468.158 ***
記憶媒体容量 (GB)	-0.397	-0.511
Box-Coxパラメータ	27.598 ***	6.815 ***
総画素数 (ピクセル)	-0.087	-0.047
Box-Coxパラメータ	3.047E-12 ***	1.089E-22 ***
バッテリー駆動時間 (分)	2.106	3.706
Box-Coxパラメータ	3.360E-06 ***	5.446E-03 ***
CPUの種類ダミー	2.480	1.182
Core i7	18.765 ***	4.161 ***
記憶媒体の種類ダミー		
SSD	41.507 ***	8.283 ***
グラフィック・アクセラレーター搭載ダミー		
専用グラフィックメモリ	7.523 **	3.167 ***
ディスプレイ仕様ダミー		
3D液晶	22.164 ***	7.699 ***
タッチパネル	45.333 ***	16.786 ***
光ディスクドライブダミー		
スーパーマルチドライブ / ハイパーマルチドライブ	--	2.296 **
ブルーレイ・ディスクドライブ	8.612 ***	2.901 ***
搭載インターフェイスダミー		
Bluetooth	8.877 ***	4.314 ***
USB3.0	7.722 ***	4.415 ***
指紋認証ダミー	21.646 ***	--
通信規格対応ダミー		
WiMAX	12.990 ***	3.648 ***
テレビ機能ダミー		
地上デジタル放送対応	20.998 ***	4.431 ***
初期搭載OSの種類ダミー		
Windows 7 Professional	9.379 **	2.817 **
初期搭載ビジネスアプリケーションダミー		
Microsoft Office Personal 2010	22.133 ***	6.768 ***
Office Home and Business 2010	28.801 ***	8.679 ***
メーカーダミー		
A社	--	7.925 ***
B社	15.404 ***	7.942 ***
C社	16.852 ***	8.147 ***
D社	--	5.247 ***
E社	63.478 ***	24.675 ***
F社	55.123 ***	19.059 ***
販売時期ダミー		
2010/4Q	--	-4.046 ***
2011/1Q	--	-6.925 ***
2011/2Q	-4.212	-8.916 ***
2011/3Q	-10.078 ***	--
2011/4Q	-18.408 ***	--
決定係数	0.907	0.926
自由度修正済み決定係数	0.900	0.921
回帰の標準誤差	18.333	5.546
被説明変数の平均値	274.504	120.935
サンプル数	382	387
両側Box-Coxに対する検定 (H1:両側Box-Cox)		
H0:片側Box-Cox ($\lambda_i=1$)	90.966 ***	79.863 ***
H0:両側対数 ($\lambda_0=\lambda_i=0$)	51.146 ***	38.563 ***
H0:片側対数 ($\lambda_0=0, \lambda_i1$)	157.789 ***	128.415 ***
H0:線形 ($\lambda_0=\lambda_i=1$)	120.275 ***	133.238 ***

(注) 1. ***は1%、**は5%、*は10%水準で有意であることを示す。

2. 両側Box-Coxに対する検定は、尤度比検定により行っている。尤度比検定の統計量は、制約の数を自由度とする χ^2 分布に従う。
例えば、図表の「両側Box-Coxに対する尤度比検定」では、帰無仮説 (H_0) の関数形が棄却された場合、両側Box-Cox形の関数
が、片側Box-Cox形、両側対数形等、より単純な関数形より有意に優れていることを意味する。

3. 記憶媒体容量とは、HDD容量とSSD容量の合計量を意味する。

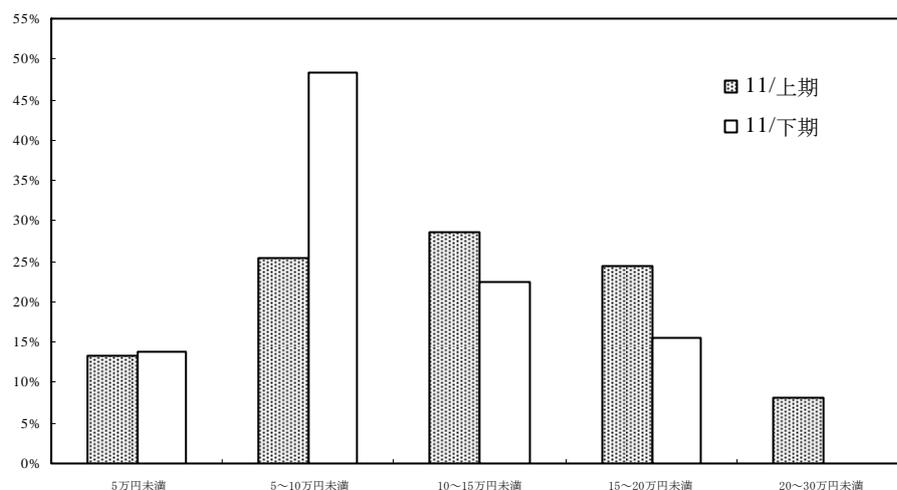
推計データの出所と価格分布

(1) データの出所

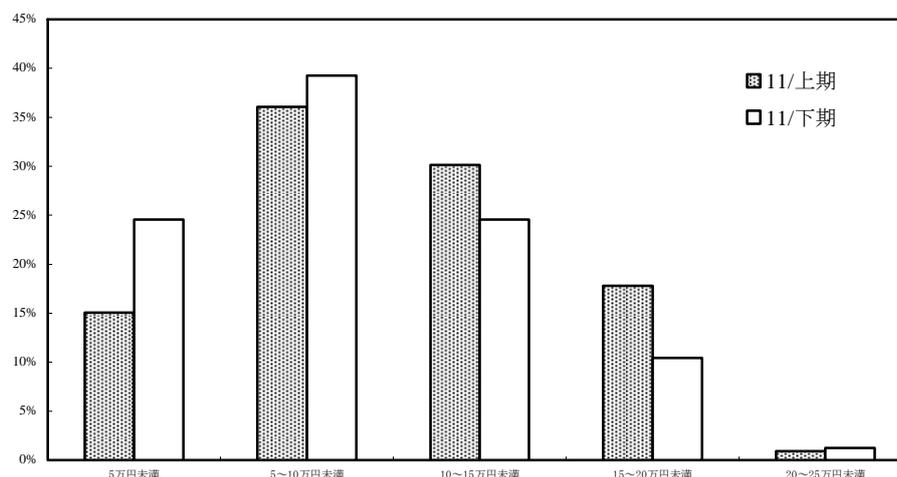
- ① 株式会社 BCN 作成のデータベース「BCN ランキング」に掲載されたパソコン各機種の家電量販店における小売価格(四半期平均単価)とその特性値を使用した。また、同データベースに記載されていない特性値は個別機種の仕様書などから取得した。
- ② 推計対象とした機種は、11/1Q～11/4Q に新規に発売されたものとした。価格データは、最初に販売された四半期のデータを使用した。
- ③ 今回使用したサンプル数は、デスクトップ型が 156、ノートブック型が 382 となっている。サンプル内には、国内品と輸入品が混在しているが、推計では両者を特に区別していない。
- ④ なお、推計に用いた価格は個人向け販売が多いとみられるため、企業物価指数が対象とする企業間の取引価格とは異なる可能性がある。

(2) 推計で使用した価格データの分布

① デスクトップ型



② ノートブック型



推計で使用したパソコンの特性値

今回の推計においてパソコンの機能について設定した主要な変数の詳細は下表のとおりである。

変数	内容
キャッシュ容量 (2次+3次, MB)	CPU とメインメモリの間で情報の受け渡しを行うメモリの容量。
標準搭載メモリ容量 (MB)	内蔵している標準のメインメモリの容量。
HDD 容量 (GB)	内蔵している HDD (Hard Disc Drive) の容量。2 個以上内蔵している場合には合計の容量。
SSD 容量 (GB)	内蔵している SSD (Solid State Drive) の容量。SSD は、記憶媒体としてフラッシュメモリを用いるドライブ装置で HDD に代わるものである。HDD に比べ高速で衝撃にも強いが、高価なため大容量化が難しい。
SSD 搭載ダミー	記憶媒体として SSD を搭載しているものを 1 とするダミー。
グラフィック・アクセラレーターダミー	搭載されているグラフィック・アクセラレーターの種類について、対応するものを 1 とするダミー変数。グラフィック・アクセラレーターの性能は、パソコンでゲームや動画視聴、その他エンターテインメントなどを行う際、画像品質の高度化に寄与する。
総画素数 (ピクセル)	標準搭載される内臓ディスプレイの総ピクセル数。
ディスプレイダミー	標準搭載されるディスプレイの解像度について、対応するものをそれぞれ 1 とするダミー変数。フル HD 液晶 (1920×1080)、WUXGA 液晶 (1920×1200)、3D 液晶。
タッチパネル搭載ダミー	タッチパネルを搭載しているものを 1 とするダミー変数。
バッテリー駆動時間 (分)	バッテリー駆動時間。メーカー公表値で、JEITA 測定値の表記がない場合はメーカー測定値。
CPU の種類ダミー	搭載されている CPU のブランドについて、対応するものをそれぞれ 1 とするダミー変数。クロック周波数やキャッシュ容量といった変数では捉え切れない、CPU 独自の特性や価格設定行動の代理変数としている。
光ディスクドライブダミー	コンボドライブ、スーパーマルチドライブ、ハイパーマルチドライブ、ブルーレイ・ディスクドライブを搭載しているものをそれぞれ 1 とするダミー変数。
USB3.0 搭載ダミー	USB3.0 端子を搭載しているものを 1 とするダミー変数。
指紋認証搭載ダミー	指紋認証装置を搭載しているものを 1 とするダミー変数。
Bluetooth 対応ダミー	Bluetooth に対応しているものを 1 とするダミー変数。Bluetooth とは、デジタル機器に使用される近距離無線通信規格の 1 つである。
無線 LAN 搭載ダミー	無線 LAN に対応しているものを、1 とするダミー変数。
WiMAX 対応ダミー	WiMAX に対応しているものを 1 とするダミー変数。WiMAX はモバイルデータ通信サービスの規格の 1 つである。
テレビ機能ダミー	テレビ入・出力端子を搭載しているもの、および、AV 対応パソコンのうち、動画処理をハードウェアまたはソフトウェアで行うものをそれぞれ 1 とするダミー変数。地上デジタル放送に対応している場合には「地上デジタル放送対応ダミー」を、地上デジタル放送・BS 放送・CS 放送全てに対応している場合には、「地上デジタル / BS / CS 対応ダミー」を設定。
初期搭載 OS の種類ダミー	OS として Windows Home Premium / Business / Windows 7 Home Premium 32 ビット版 / Home Premium 64 ビット版 / Professional が搭載されているものを 1 とするダミー変数。Vista Business / Windows 7 Professional は企業向けバージョン。
初期搭載ビジネスアプリケーションの種類ダミー	ビジネスアプリケーションとして Microsoft Office 2007 (Personal Edition / Standard Edition) / 2010 (Personal Edition / Home and Business Edition) が搭載されているものを 1 とするダミー変数。
メーカーダミー	各モデルについて、対応するメーカーを 1 とするダミー変数。上記の特性値では捉え切れない、その他のメーカー固有の特性 (価格設定行動、ブランドイメージ等) を捉える。
販売時期ダミー	上述の特性で捉えきれない、販売された時期の需給要因、技術革新等の影響を表すと考えられるダミー変数。

推計サンプルの特性：デスクトップ型パソコン

		全期間	11/上期	11/下期
サンプル数	(個)	156	98	58
価格	平均 (円)	109,721	117,325	96,872
クロック周波数	平均 (MHz)	2,620.4	2,629.0	2,606.0
標準搭載メモリ容量	平均 (MB)	4,417.6	4,315.4	4,590.3
最大搭載メモリ容量	平均 (MB)	9,609.8	9,654.9	9,533.8
2次キャッシュ容量	平均 (MB)	0.9	0.9	0.8
3次キャッシュ容量	平均 (MB)	4.0	3.9	4.1
HDD容量	平均 (GB)	1,073.2	1,078.3	1,064.7
メモリスロット(最大)	平均 (スロット)	2.7	2.9	2.4
メモリスロット(空き)	平均 (スロット)	0.8	0.9	0.7
ディスプレイの特性				
画面サイズ	平均 (インチ)	16.3	15.7	17.2
総画素数	平均 (ピクセル)	1,414,930.5	1,357,187.3	1,512,496.6
画面解像度 (横)	平均 (ピクセル)	1,361.2	1,308.0	1,451.0
画面解像度 (縦)	平均 (ピクセル)	770.8	740.9	821.4
液晶モニタ	搭載比率 (%)	75.0%	72.4%	79.3%
HD対応液晶 (16:9)	搭載比率 (%)	69.9%	67.3%	74.1%
フルHD液晶	搭載比率 (%)	50.6%	45.9%	58.6%
WUXGA液晶	搭載比率 (%)	1.3%	1.0%	1.7%
光沢液晶	搭載比率 (%)	55.8%	59.2%	50.0%
3D映像対応	搭載比率 (%)	9.0%	11.2%	5.2%
タッチパネル	搭載比率 (%)	9.0%	10.2%	6.9%
CPUの種類				
(シングルコア)	搭載比率 (%)	1.9%	3.1%	0.0%
Atom	搭載比率 (%)	1.9%	3.1%	0.0%
(デュアルコア)	搭載比率 (%)	60.3%	59.2%	62.1%
Core i3	搭載比率 (%)	18.6%	16.3%	22.4%
AMD E-350	搭載比率 (%)	2.6%	4.1%	0.0%
AMD E-450	搭載比率 (%)	1.9%	0.0%	5.2%
AMD A4-3400	搭載比率 (%)	0.6%	0.0%	1.7%
Celeron Dual-Core	搭載比率 (%)	4.5%	4.1%	5.2%
Pentium Dual-Core	搭載比率 (%)	9.0%	7.1%	12.1%
Athlon II X2	搭載比率 (%)	2.6%	4.1%	0.0%
Core i5	搭載比率 (%)	18.6%	21.4%	13.8%
Core i7	搭載比率 (%)	1.9%	2.0%	1.7%
(クアッドコア)	搭載比率 (%)	36.5%	36.7%	36.2%
Core i5	搭載比率 (%)	12.8%	13.3%	12.1%
Core i7	搭載比率 (%)	23.1%	22.4%	24.1%
Athlon II X4	搭載比率 (%)	0.6%	1.0%	0.0%
(6コア)	搭載比率 (%)	0.6%	1.0%	0.0%
PhenomIX6	搭載比率 (%)	0.6%	1.0%	0.0%
(8コア)	搭載比率 (%)	0.6%	0.0%	1.7%
AMD FX-8100	搭載比率 (%)	0.6%	0.0%	1.7%
CPUメーカー				
Intel	搭載比率 (%)	90.4%	89.8%	91.4%
AMD	搭載比率 (%)	9.6%	10.2%	8.6%
専用グラフィックスメモリ	搭載比率 (%)	13.5%	16.3%	8.6%
LANデータ転送仕様 (有線)				
100BASE対応	搭載比率 (%)	4.5%	7.1%	0.0%
1000BASE対応	搭載比率 (%)	95.5%	92.9%	100.0%
光ディスクドライブの種類				
ハイパーマルチドライブ	搭載比率 (%)	91.7%	89.8%	94.8%
ブルーレイ・ディスクドライブ	搭載比率 (%)	39.7%	41.8%	36.2%
テレビ機能				
テレビチューナー	搭載比率 (%)	46.8%	46.9%	46.6%
ダブルチューナー	搭載比率 (%)	33.3%	35.7%	29.3%
地上デジタル放送対応	搭載比率 (%)	46.8%	46.9%	46.6%
BSデジタル放送対応	搭載比率 (%)	34.6%	35.7%	32.8%
CSデジタル放送対応	搭載比率 (%)	34.6%	35.7%	32.8%
インターフェイス				
無線LAN	搭載比率 (%)	62.2%	57.1%	70.7%
Bluetooth	搭載比率 (%)	15.4%	13.3%	19.0%
ワイヤレスキーボード	搭載比率 (%)	52.6%	51.0%	55.2%
HDMI端子	搭載比率 (%)	36.5%	36.7%	36.2%
eSATA端子	搭載比率 (%)	3.8%	3.1%	5.2%
USB3.0	搭載比率 (%)	48.7%	45.9%	53.4%
内蔵カメラ	搭載比率 (%)	45.5%	41.8%	51.7%
初期搭載OSの種類				
Windows 7 Home Premium 32ビット版	搭載比率 (%)	5.8%	9.2%	0.0%
Windows 7 Home Premium 64ビット版	搭載比率 (%)	87.2%	83.7%	93.1%
Windows 7 Professional 32ビット版	搭載比率 (%)	0.6%	0.0%	1.7%
Windows 7 Professional 64ビット版	搭載比率 (%)	1.9%	3.1%	0.0%
MacOS	搭載比率 (%)	2.6%	4.1%	0.0%
Lion	搭載比率 (%)	1.9%	0.0%	5.2%
初期搭載ビジネスアプリケーションの種類				
Microsoft Office 2010 Personal	搭載比率 (%)	9.6%	9.2%	10.3%
Microsoft Office 2010 Home and Business	搭載比率 (%)	48.7%	51.0%	44.8%
メーカーシェア				
日本HP	比率 (%)	16.0%	19.4%	10.3%
レノボ	比率 (%)	14.7%	8.2%	25.9%
富士通	比率 (%)	14.7%	16.3%	12.1%
NEC	比率 (%)	14.7%	15.3%	13.8%
日本エイスー	比率 (%)	12.8%	12.2%	13.8%
ソニー	比率 (%)	12.2%	13.3%	10.3%
東芝	比率 (%)	6.4%	6.1%	6.9%
Apple	比率 (%)	4.5%	4.1%	5.2%
ASUS	比率 (%)	2.6%	3.1%	1.7%
オンキヨー	比率 (%)	1.3%	2.0%	0.0%

(注) メーカーシェアを含め、本表記載のデータの算出は、日本銀行がBCN社のデータベースから抽出したサンプルを用いた。

推計サンプルの特性：ノートブック型パソコン

		全期間	11/上期	11/下期
サンプル数		382	219	163
価格	平均 (円)	97,241	103,047	89,440
クロック周波数	平均 (MHz)	2,095.5	2,127.9	2,052.0
標準搭載メモリ容量	平均 (MB)	3,766.3	3,703.2	3,851.0
最大搭載メモリ容量	平均 (MB)	7,323.5	7,317.6	7,331.3
2次キャッシュ容量	平均 (MB)	0.7	0.7	0.7
3次キャッシュ容量	平均 (MB)	2.8	2.8	2.9
HDD容量	平均 (GB)	505.7	524.9	479.8
SSD容量	平均 (GB)	10.5	3.9	19.4
バッテリー駆動時間	平均 (分)	363.4	345.4	387.7
メモリスロット (最大)	平均 (スロット)	1.8	1.8	1.7
メモリスロット (空き)	平均 (スロット)	0.5	0.4	0.6
重量	平均 (kg)	2.1	2.2	2.1
筐体 (幅)	平均 (mm)	344.3	345.3	343.0
筐体 (奥行き)	平均 (mm)	235.2	236.7	233.2
筐体 (高さ)	平均 (mm)	29.6	27.7	25.2
DVD-R書き込み速度	平均 (倍速)	5.7	6.0	5.2
ディスプレイの特性				
画面サイズ	平均 (インチ)	14.1	14.2	14.1
総画素数	平均 (ピクセル)	1,119,884.7	1,126,549.6	1,110,930.1
画面解像度 (横)	平均 (ピクセル)	1,391.5	1,393.8	1,388.4
画面解像度 (縦)	平均 (ピクセル)	791.4	792.7	789.7
HD対応液晶 (16:9)	搭載比率 (%)	85.1%	84.5%	85.9%
フルHD液晶	搭載比率 (%)	8.1%	9.6%	6.1%
WUXGA液晶	搭載比率 (%)	0.5%	0.5%	0.6%
光沢液晶	搭載比率 (%)	72.3%	74.9%	68.7%
3D液晶	搭載比率 (%)	3.4%	5.0%	1.2%
タッチパネル	搭載比率 (%)	2.1%	3.7%	0.0%
記憶媒体の種類				
SSD	搭載比率 (%)	8.1%	4.1%	13.5%
CPUの種類				
(シングルコア)	搭載比率 (%)			
Athlon II Neo K125	搭載比率 (%)	3.9%	5.0%	2.5%
Atom Single-Core	搭載比率 (%)	0.3%	0.5%	0.0%
Celeron	搭載比率 (%)	2.4%	3.2%	1.2%
(デュアルコア)	搭載比率 (%)	1.3%	1.4%	1.2%
phenom II X3	搭載比率 (%)	83.0%	81.7%	84.7%
Tegra250	搭載比率 (%)	0.3%	0.5%	0.0%
Athlon II	搭載比率 (%)	0.5%	0.9%	0.0%
AMD C-50	搭載比率 (%)	0.8%	1.4%	0.0%
AMD C-50	搭載比率 (%)	0.3%	0.5%	0.0%
AMD E-350	搭載比率 (%)	0.3%	0.5%	0.0%
AMD E-450	搭載比率 (%)	3.9%	5.0%	2.5%
Atom Dual-Core	搭載比率 (%)	2.1%	0.0%	4.9%
Celeron Dual-Core	搭載比率 (%)	4.2%	4.1%	4.3%
Core i3	搭載比率 (%)	6.3%	5.0%	8.0%
Core i5	搭載比率 (%)	19.1%	16.4%	22.7%
Core i7-660um	搭載比率 (%)	33.8%	35.6%	31.3%
Core i7-2620m	搭載比率 (%)	0.8%	0.9%	0.6%
Core i7-2620m	搭載比率 (%)	1.6%	1.8%	1.2%
Core i7-2640qm	搭載比率 (%)	0.5%	0.0%	1.2%
Core i7-2677m	搭載比率 (%)	1.3%	0.0%	3.1%
Core i7-2677m	搭載比率 (%)	0.5%	0.0%	1.2%
Core i7-2677m	搭載比率 (%)	0.5%	0.0%	1.2%
Core i7-2677m	搭載比率 (%)	7.1%	9.6%	3.7%
Penitium Dual-Core	搭載比率 (%)	12.6%	13.2%	11.7%
(クアッドコア)	搭載比率 (%)			
Core i7-740qm	搭載比率 (%)	0.5%	0.5%	0.6%
Core i7-2630qm	搭載比率 (%)	7.9%	12.3%	1.8%
Core i7-2670qm	搭載比率 (%)	3.1%	0.0%	7.4%
Core i7-2720qm	搭載比率 (%)	1.0%	0.5%	1.8%
CPUメーカー				
Intel	搭載比率 (%)	91.4%	91.3%	91.4%
AMD	搭載比率 (%)	8.6%	8.7%	8.6%
グラフィック・アクセラレーター				
NVIDIA社製	搭載比率 (%)	7.6%	8.2%	6.7%
専用グラフィックスメモリ	搭載比率 (%)	13.6%	13.7%	13.5%
メモリの種類				
DDR2	搭載比率 (%)	1.3%	2.3%	0.0%
DDR3	搭載比率 (%)	98.7%	97.7%	100.0%
ネットワーク通信機能				
100BASE対応	搭載比率 (%)	29.6%	28.8%	30.7%
1000BASE対応	搭載比率 (%)	67.3%	68.9%	65.0%
無線LAN	搭載比率 (%)	98.7%	99.1%	98.2%
WiMAX	搭載比率 (%)	20.7%	20.5%	20.9%
光ディスクドライブの種類				
スーパーマルチドライブ	搭載比率 (%)	9.2%	11.9%	5.5%
ハイパーマルチドライブ	搭載比率 (%)	63.4%	63.5%	63.2%
ブルーレイ・ディスクドライブ	搭載比率 (%)	21.2%	25.1%	16.0%
テレビ機能				
テレビチューナー	搭載比率 (%)	7.9%	10.5%	4.3%
ダブルチューナー	搭載比率 (%)	1.8%	3.2%	0.0%
BSデジタル放送対応	搭載比率 (%)	4.2%	5.0%	3.1%
CSデジタル放送対応	搭載比率 (%)	4.2%	5.0%	3.1%
インターフェイス				
PCカード	搭載比率 (%)	7.1%	6.4%	8.0%
カードスロット	搭載比率 (%)	97.6%	98.2%	96.9%
HDMI端子 (出)	搭載比率 (%)	78.5%	79.5%	77.3%
eSATA	搭載比率 (%)	14.9%	16.9%	12.3%
Felicaポート	搭載比率 (%)	2.4%	4.1%	0.0%
Bluetooth	搭載比率 (%)	35.1%	32.0%	39.3%
USB3.0	搭載比率 (%)	40.1%	36.1%	45.4%
その他機能				
内蔵カメラ	搭載比率 (%)	69.6%	66.7%	73.6%
生体認証	搭載比率 (%)	17.0%	16.9%	17.2%
指紋認証	搭載比率 (%)	11.0%	11.9%	9.8%
顔認証	搭載比率 (%)	6.0%	5.0%	7.4%
初期搭載OSの種類				
Windows 7 Home Premium 32ビット版	搭載比率 (%)	7.9%	11.0%	3.7%
Windows 7 Home Premium 64ビット版	搭載比率 (%)	75.9%	75.3%	76.7%
Windows 7 Starter 32bit	搭載比率 (%)	6.0%	6.4%	5.5%
Windows 7 Professional 32ビット版	搭載比率 (%)	4.2%	2.7%	6.1%
Windows 7 Professional 64ビット版	搭載比率 (%)	8.4%	7.8%	9.2%
MacOS	搭載比率 (%)	3.7%	2.3%	5.5%
初期搭載ビジネスアプリケーションの種類				
Microsoft Office 2010 Personal	搭載比率 (%)	14.4%	14.2%	14.7%
Microsoft Office 2010 Home and Business	搭載比率 (%)	37.2%	44.7%	27.0%
メーカーシェア				
東芝	比率 (%)	13.4%	13.2%	13.5%
レノボ	比率 (%)	11.8%	7.3%	17.8%
NEC	比率 (%)	11.0%	13.7%	7.4%
ソニー	比率 (%)	10.7%	11.4%	9.8%
日本HP	比率 (%)	9.9%	7.8%	12.9%
パナソニック	比率 (%)	9.7%	11.0%	8.0%
日本エイスール	比率 (%)	8.9%	10.5%	6.7%
富士通	比率 (%)	8.9%	11.0%	6.1%
ASUS	比率 (%)	7.9%	6.8%	9.2%
Apple	比率 (%)	3.7%	2.3%	5.5%
eMachines	比率 (%)	1.3%	2.3%	0.0%
MSI	比率 (%)	1.0%	0.9%	1.2%
Gateway	比率 (%)	0.8%	1.4%	0.0%
オンキヨー	比率 (%)	0.8%	0.5%	1.2%

(注) 1. メーカーシェアを含め、本表記載のデータの算出は、日本銀行がBCN社のデータベースから抽出したサンプルを用いた。
2. DVD-Rの書き込み機能が付属しない機種に関しては、DVD-R書き込み速度は0として平均値を計算している。